



“食卓に笑顔と感動を届けたい”

マルシン通信

発行：(株)マルシンフーズ
本社：伊那市西箕輪 3900-162
TEL:0265-76-8078
FAX:0265-76-8182
Mail:info@marushinfoods.co.jp

今回も皆様のお役に立てそうです^^

- ◇ **【会社誕生秘話】 野球チーム発足の裏話(^-^;)**
- ◇ **【活動報告】 今年も出ました食の展示会！**
- ◇ **【営業ミーティングより】 耳を疑うその一言とは**

皆様、こんにちは^^ 今月も飯沼です！今年もいよいよ年末を意識させる季節。皆さんはいつのどこで年末を感じていますか？ 考え中 考え中 中身は違えどきっとその時を感じる瞬間を誰しもがお持ちだと思うんです。イルミネーションにクリスマスツリー点灯式。ドラマに雑誌、また自らの服装等。そんな私かというと、テレビ、ラジオ、ショップBGMやスナックのカラオケ等、歌で年の瀬を感じるのが毎年の風物詩となっています。ちなみに昨今は、「日本一早いクリスマスをお届け！」などと言って、11月1日にクリスマスソングを流すラジオがあるんです。「それは早いだろ！」とツッコミながらも「ああ、今年も終わりか」とまんまとやらされるのを、ここ数年繰り返しております(^^;;)。

※ちなみに、今年11月初旬にFMラジオで「いつかのメリークリスマス」を聞かされました。

さて、今月のマル通ですが、出展した展示会や生まれ変わったセールスマンについて綴っていきます。

今月もマルシン通信を、最後まで宜しくお願い致します^^

まずはこちら・・・

◆ 会社誕生秘話 SEASON2 その2

前回までのあらすじ・・・ここで改めて私という人間をご理解いただきたいと固く誓った私、飯沼健一。中学時代のニックネームは「先輩」・・・

生徒会長など程遠い人間でしたが、「砂山の大将」くらいがちょうどいい私は、班長やルーム長、グループリーダー等をコツコツとこなしておりました。改めて振り返ると、当時からSつけタツプリの私は、きっと人の指示で動くのが嫌いだったんでしょうね^^;。小学校6年では遊びの延長でやっていた野球をチーム化し、町の少年野球連盟にエントリーして、大会に出場。ユニフォームまで作って望みました。チーム名はというと、当時から現在も強豪チームとして有名な「ニューズネークス」を倒すため「ニューマングースにしよう！」と言ったところ一発却下。最終「ニュードラゴンズ」で落ち着きました。当時から笑いのセンスはあったようです^^; 続きは次号で

裏面もどうぞ→

活動報告！

9日と10日の2日間、今年も出展させていただきました「地方銀行フードセレクション」！東京ビッグサイトにて行われたこの展示会も12回を数え、1回目は5行の地方銀行でしたが、今回は55行にまで増え、出展社数も102社（我がマルシンフーズは第一回から皆勤出展中）から831社に。当然来場者数も過去最高の12,612名と会場を盛り上げていただきました。この場をお借りして、ご来場、または当社ブースへ足をお運びいただいた企業の皆様、本当に有難うございました。

毎年コンセプトを変えながら出展する中、今年は完全に営業部のメンバーに一任。そのテーマは「**あなたはどっち？NB それとも OEM**」。左半分は**自社商品**（National Brand）。残りの半分は当社自信の原材料を並べ、マルシンフーズを製造元として、**お客様のオリジナル商品**（original equipment manufacturer）を作りませんかとご提案。営業部3名の勇士たちは会社の代表として、新たな繋がりを持ち帰ってくれました^^。そしてこれから、社内において製造部との戦い・・・いやいや、取り組みが始まります！



特集「周囲を唖然とさせた一言とは・・・」

毎月の最終日に行われる、当社恒例となった営業ミーティング。その名も「PUM（パワーアップミーティング）」。

10月末で第31回を迎えました。当初は私が企画してレジュメを作成し、決まった内容に沿って営業が順番に数字と取り組みについて発表し、「来月も頑張りましょう」と締めくくる会議でしたが、第25回目くらいからは私は背中を向けて参加。ゲスト？来賓？のような感覚で一言も喋ることなく進んでいきます。その内容を盗み聞き？しながら、気になった感想をホワイトボードに書き留めて最後に発表する形式に生まれ変わっています。

ただ、今回は一つだけ宿題を出しておきました。ここ半年ほど、まるで別人のような数字をたたき出している課長に「**昨今の営業で、自分がやってきたことをPUMの最後に発表してくれる？**」と。

そしてその時は来ました。資料こそWordのベタ打ちでしたが、重点的に取り組んだお客様順に9社様を例題として取り上げています。数分間の発表も終わりかけたその時、私から質問が。「結局商いってなんだった？」と。すると課長は迷うことなくこう答えました。

「はい、全ては人でした^^」と。実体験から生まれたその言葉は重みが違いました・・・



終わりに・・・みなさま、第11号も最後までお付き合い頂き有難うございました。今月は業者間で行われた交流会や忘年会に多数参加致しました。いずれも30代がメインで、そのパワーたるや、43歳の私ですらたじろくほど・・・。そんな中で感じる事。それは、目まぐるしいスピードで訪れている時代の変化です。その世界にどっぷり浸かっていないと即座に蹴落とされるような恐ろしさもありつつ、「物から人へ」または「物から事へ」と商いの視点が変化して来ていることの気づき。これを、感覚も大切ですが、理論的かつ実践的に習得していかななくてはならないという事です。その結果、楽しくワクワクするような商いの未来が待っている気がしますよね^^ おっと、堅苦しい締めになっちゃいました(;-;) ではまた、私とは第12号でお会いしましょう！

ホームページではブログも
配信中！



フェイスブックも好評
配信中！

